



大宮駅周辺の一車線が連続する道では、どうしても自転車が走りにくくなってしまいますので、幅員に余裕がない道こそ整備を。今後の整備計画に注目!



さいたま市 MAP

今回走ったルート



大宮駅西口
サイクルポート
START!

首都高速
埼玉新都心線

さいたまスーパーアリーナ

さいたま新都心駅



新都心駅前の道は、整備が済んだ道路で、ここは余裕をもって走行できた。



今回乗った
コミュニティ
サイクルは
コレ!



※ミニベロ……一般的に24インチ以下の自転車のことをいいます。



都会だとばかり思っていたけれど、裏道を入ったところは意外と自然が豊かで、発見も多かった。



大宮第二公園

大宮公園

大宮第三公園

水川神社

水川参道

※水川参道では
自転車を押して
歩きましょう。

大宮駅

◎大宮区役所

合併記念
見沼公園



他のポートで借りた自転車を別のポートで返却できるのは、とても便利。現在、市内に20カ所のポートがあります。



全体的にコミュニティサイクルの所在地が分かりづらい。看板をもっと大きくするなどの工夫があれば、もっと利用者が増えるのでは?



ミニベロ※は小回りが利くので、細い裏道などでは活躍する場面も。



TOPICS!

子どもたちと一緒に考える?! 家族で走る自転車の安全

親子で自転車走行の安全を考える「杉並おやこじてんしゃプロジェクト」が、杉並区の各地で定期的を実施されています。講師は、毎日自転車に乗っている地元のママ。小さな子どもでも楽しく学べるよう、途中に読み聞かせや手遊びを交えながら、最後に自転車安全利用五則を唱和して、軽視しがちな交通マナーの普及に努めています。

一方、さいたま市では、自転車利用のさらなる推進と安全意識の徹底を目的に、「子育てパパ・ママ自転車アシストプロジェクト」を実施します。本年度より随時開催される交通安全教室を受講した子育て世代の家庭に対し、3人乗り電動アシスト自転車の貸し出しを行います。毎日の買い物や送り迎えといった日常生活における利用のほか、休日のサイクリングなど幅広い分野での活用を応援します!



さまざまな年齢の子どもを持つママたちが集まり、自身の体験をもとに実用的な自転車走行の安全策を考える杉並おやこじてんしゃプロジェクト

私たちが考える!!

自転車のまちづくり 「体験レポート」



猛暑日だったこの日。自転車での走行距離は、およそ17.5kmにおよびました。消費したペットボトルは合計で16本! 「みんなで走ったから楽しめた」という彼らに、それぞれのまちでの「発見」について話してもらいました。



今回協力してくれたのは

左から/埼玉大学 井村公一さん・川村知裕さん、宇都宮大学 森千鶴さん・山本大貴さん



「自転車の駅」は工具の貸し出し以外にも、スポーツバイク専用の自転車スタンドが。

東武宇都宮駅

オリオンスクエア
「自転車の駅」

宇都宮市役所

◎

宇都宮城址公園



西原・宮の原通りの
自転車レーン



さいたま市ではまだ見る機会のない自転車の「二段階右折」の交差点もありました。



よく目を凝らさないと、2段階右折のサインだと気付かない場合も。子どもやお年寄りにも分かりやすい工夫があるといい。



宮サイクルステーションの中に入ったのははじめて。説明などが分かりやすかった。レンタサイクルの車種も豊富で魅力的。



宇都宮市 MAP

今回走ったルート



やっぱり、電動アシスト付き自転車は楽! 長距離を走れるので、外出先の選択肢が広がろう。さいたま市にもあったらうれしい。



次号予告 ▶▶▶ 次号は、「働く女性」をテーマに、コンパクトシティについて考えます。